

# 1. 調査報告概要表

作成日平成 20年5月23日

## 【評価実施概要】

|       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 事業所番号 | ( 評価機関で記入 ) 2070501180               |
| 法人名   | 営利法人 三菱電機ライフサービス株式会社                 |
| 事業所名  | 飯田ケアハートガーデン グループホーム北方の郷              |
| 所在地   | 長野県飯田市北方1558番地<br>(電 話) 0265-28-2551 |

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 評価機関名 | NPO 福祉総合評価機構 長野県事務所 |
| 所在地   | 長野県飯田市上郷別府3307番地5   |
| 訪問調査日 | 平成20年5月9日           |

## 【情報提供票より】( 20 年 4 月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 開設年月日 | 平成 18 年 3 月 1 日                    |
| ユニット数 | 2 ユニット 利用定員数計 18 人                 |
| 職員数   | 16 人 常勤 14 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 14.8 人 |

### (2) 建物概要

|      |                    |
|------|--------------------|
| 建物構造 | 軽量鉄骨 造り            |
|      | 2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |                  |                |          |   |
|---------------------|------------------|----------------|----------|---|
| 家賃(平均月額)            | 54,000 円         | その他の経費(月額)     | 20,000 円 |   |
| 敷 金                 | 有( 円)            | (無)            |          |   |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 円)            | 有りの場合<br>償却の有無 | 有 / 無    |   |
| 食材料費                | 朝食               | 円              | 昼食       | 円 |
|                     | 夕食               | 円              | おやつ      | 円 |
|                     | または1日当たり 1,200 円 |                |          |   |

### (4) 利用者の概要( 4 月 1 日現在)

|       |         |      |      |    |      |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 16 名    | 男性   | 4 名  | 女性 | 12 名 |
| 要介護1  | 1 名     | 要介護2 | 7 名  |    |      |
| 要介護3  | 5 名     | 要介護4 | 2 名  |    |      |
| 要介護5  | 1 名     | 要支援2 | 0 名  |    |      |
| 年齢    | 平均 85 歳 | 最低   | 66 歳 | 最高 | 96 歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |                     |
|---------|---------------------|
| 協力医療機関名 | 飯田病院 横田医院 田口歯科クリニック |
|---------|---------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

飯田市郊外の新興住宅地にあるこのグループホームは、静かな環境の中にひっそりと佇んでいるが、大きな法人組織の数あるグループホームの一つで、市内では初めての2ユニットとして、造られたのである。そのため、施設・設備等が整っており、法人組織で行う研修等が充実している。このような環境・設備の中で、センター方式を採用入れて、積極的に利用者本位の介護計画を立て、ケアの充実を図ろうとしている管理者等の試みが期待できるグループホームである。また、1・2階の2ユニットの特長を活かした交流に力を入れているグループホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

|      |  |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)   |
|      | <p>前回外部評価の介護計画では、「個別具体的な介護計画,介護計画の職員間での共有,介護計画への入居者・家族の意見の反映」の3点について改善課題として指摘を受けた。そこで、グループホームでは、センター方式による入居者や家族思いや意見の把握を通し具体的な介護計画作成を目指している。また、職員間での話し合いを通して介護計画を共有し、見直しを図っている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価等でも課題となってきている利用者の外出についても、十分でないところを認め、できる範囲での改善に取り組んでいる。</p> |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容およびそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2月に1回、状況報告だけに止まらず避難訓練に参加してもらったり、昼食を一緒に食べてもらったりして、地域との理解・連携を目指している。また、家族代表や地域の方からの意見が多く出され、意見交換が活発にされている。法人の運営担当者の出席があり、徘徊コールマットを設置するなど、早く対応できるようになっている。</p>  |
| 重点項目 | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の方が訪問する際には、話しやすい雰囲気を作っている。また、運営推進会議の折には、家族代表の方が意見をはっきり言ってくれるので、スタッフ会議で検討・改善に努めている。</p>  |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>利用者たちと一緒に作った野菜などをおすそ分けしたりして、隣近所との付き合いを大切にしている。また、地域のボランティアの方々に来てもらって、いろいろな出し物を見せてもらったりして交流しているが、利用者が地域活動に参加し、交流することが少ない。</p>  |

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                           | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ( 印 ) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------------|----|--|---|-------|---|
| <b>. 理念に基づく運営</b>            |    |  |   |       |   |
| <b>1. 理念と共有</b>              |    |  |   |       |   |
| 1                            | 1  | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 「一人ひとりの思いを尊重し寄り添って、お互いの心を響かせ合い温もりを感じ合いながら、居心地のよい空間を共に創りだしていきます」という理念を掲げ、法人内の多くのグループホームの中でも独自の理念をつくりあげてきている。 |       | さらに、地域密着型サービスとして何が大切かを話し合い、理念について検討していくことが望まれる。                                 |
| 2                            | 2  | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 管理者はスタッフ会議の折や申し送りノートの記述を通して、理念に基づく実践を心がけるよう働きかけている。職員は利用者一人ひとりの思いを尊重し、できないときに支援するように取り組んでいる。                |       |   |
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |    |  |   |       |   |
| 3                            | 5  | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 地域のボランティアの方々に来ていただき、獅子舞を見せてもらったり、歌・フルートの演奏などを聴いたりして交流している。また、自家製の野菜をおすそ分けしたりして、隣近所とのつきあいを大切にしている。           |       | 自治会に加入したり、運営推進会議に高齢者クラブ代表の方の参加していただいたりしているのので、いろいろな地域の行事などにできるだけ参加していくことを期待したい。 |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |    |  |   |       |   |
| 4                            | 7  | 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 昨年度の外部評価で指摘された介護計画、入浴、外出などについては、利用者一人ひとりの生活歴や状況に応じ、改善を進めている。  |       |   |
| 5                            | 8  | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議には、法人内の運営担当者が参加して話し合い、設備や行事等についての課題を積極的に取り組んでいる。また、話し合いばかりでなく、ホームでの昼食や避難訓練と一緒に参加し、現況を理解してもらうよう努めている。  |       |   |

| 外部              | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                            |
|-----------------|----|---|--|-----|--|
| 6               | 9  | 市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 市の介護高齢課とも連携して、相談や情報収集に努めている。今後は広報紙などを配布したりして、さらに連携していく予定である。   |     |  |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |   |  |     |  |
| 7               | 14 | 家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている                              | 毎月の定期受診などの折に、個々の利用者の様子等を報告している。また、広報紙「郷のたより」でホームの様子等も報告しているが、さらに発行回数を増やしていく予定である。                    |     |  |
| 8               | 15 | 運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 「ご意見用紙」を整え意見箱を設置しているが、気楽に意見を言ってくれる家族の方が多い。運営推進会議では家族代表の方からもいろいろな意見が出され、運営に活かすようにしている。                |     | お茶や食事をしながら家族との話し合いを予定しているので、家族会として組織され、共通理解をさらに図られることを期待したい。 |
| 9               | 18 | 職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 新しい職員が入ってくるときには、法人内で新人研修を行ったり、ホーム内で引継ぎがスムーズにできるようにしたりして、利用者への影響を少なくするようにしている。                        |     |  |
| 5. 人材の育成と支援     |    |   |  |     |  |
| 10              | 19 | 職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 法人内でリーダー研修やノロウィルスなどの研修をしたり、外部での研修会に参加したりして、研修を進めることができている。また、研修報告書を提出し、成果を職員が共有できるようになっている。          |     |  |
| 11              | 20 | 同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 法人内のグループホーム間で協力したり、飯田下伊那地区グループホーム連絡会の相互評価検討会に参加したりして、交流している。また、他のグループホームの研修を受け入れて、互いにサービス向上に取り組んでいる。 |     |  |

| 外部                               | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|---|---|-----|-----------------------------------|
| <b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |    |   |   |     |                                   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応        |    |   |   |     |                                   |
| 12                               | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>利用者が安心して入居できるように、面談や見学・体験を通して、職員や他の利用者、ホームの雰囲気に徐々に馴染むようにしている。</p>                                |     |                                   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援        |    |   |   |     |                                   |
| 13                               | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                       | <p>利用者一人ひとりの出来ることを大切に、職員と一緒に生活している。訪問した日は、1階・2階の利用者と共に、柏の葉がなかったのでほう葉を使った柏餅を作り、楽しいおやつの時間を過ごしていた。</p> |     |                                   |
| <b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |   |   |     |                                   |
| 1. 一人ひとりの把握                      |    |   |   |     |                                   |
| 14                               | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>  | <p>センター方式の「私の暮らし方シート」「私ができること・私ができないことシート」などを活用して、利用者一人ひとりの思いなどを把握し、共通理解できるように努めている。</p>            |     |                                   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し   |    |   |   |     |                                   |
| 15                               | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>         | <p>介護計画は、家族の意見をシートに書いてもらい、その意向を汲み取りながら、関係する職員等で話し合い、作成している。</p>                                     |     |                                   |
| 16                               | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>     | <p>利用者本人の状況に応じて、そのつど介護計画を見直すようにしている。</p>  |     |                                   |

| 外部                                 | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)               |
|------------------------------------|----|--|--|-----|---|
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |    |  |  |     |   |
| 17                                 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | 飯伊訪問看護ステーションと医療連携体制をとって、医療処置をしてグループホームでの生活が続けられるように支援している。             |     |   |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |    |  |  |     |   |
| 18                                 | 43 | かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 入居前のかかりつけ医との関係を大切に、利用者や家族等の希望を聞きながら、往診してもらったり、受診したりしている。               |     |   |
| 19                                 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 利用者本人や家族等との話し合いをもっている。そして、終末期の指針を出して方針を共有している。                         |     | 法人内のグループホームで終末期の指針を基に、マニュアル化を予定しているので、実現を期待したい。 |
| <b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>     |    |  |  |     |   |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |    |  |  |     |   |
| <b>(1) 一人ひとりの尊重</b>                |    |  |  |     |   |
| 20                                 | 50 | プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 利用者一人ひとりのプライバシーを尊重し、言葉遣いや対応についてお互いに注意しあっている。また、個人の記録等の保管についても十分留意している。 |     |   |
| 21                                 | 52 | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 利用者一人ひとりの希望などを聞いて、テレビの時代劇を見たり、外出には付き添うようにしたりしている。                      |     |   |

| 外部                                   | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ( 印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|--------------------------------------|----|--|--|------|--|
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |    |  |  |      |  |
| 22                                   | 54 | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 職員が利用者一人ひとりの状況に応じて、付き添い、一緒に話しながら食事をしていく。食事の準備や後片付けなど、利用者の力を活かし、一緒になって楽しむようにしている。       |      | 1・2階とも昼の食事中にテレビをつけたままだったので、近くの席の利用者と時々話をするだけに終わってしまった。会食できる雰囲気づくりが望まれる。(2階は普段はバックグラウンドミュージックをかけ、雰囲気づくりをしているとのことだった。) |
| 23                                   | 57 | 入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 利用者一人ひとりに曜日や時間の希望を聞き、入浴が楽しめるようにしている。入りがらない方や、車椅子の方にも声かけ・支援している。                        |      |  |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |    |  |  |      |  |
| 24                                   | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者の力を活かし、外の畑で草取りをしたり、野菜を収穫したりできるように支援している。また、生活歴を活かし、ゴミ出しなどをしてもらったりすることによって、理解を深めている。 |      |  |
| 25                                   | 61 | 日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 重度化している現在の利用者の様子から、十分な外出支援ができていない状況であるが、外の畑での作業や庭での散歩など、できるかぎりの取り組みをしている。              |      | 2・3人の少人数での花見ドライブのように、できる範囲で利用者の希望を活かした外出支援を実現するよう期待する。   |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |    |  |  |      |  |
| 26                                   | 66 | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 夜間以外は玄関に鍵をかけていない。また、居室はもちろん、2階の階段などにも鍵をかけない対応をしている。                                    |      |  |
| 27                                   | 71 | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 年1回、消防署の避難訓練のほかに、2か月に1回、消火器等の訓練を行っている。ヘルメットや防災頭巾なども用意したり、近隣の方への連絡網も整備したりしている。          |      |  |

| 外部                        | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|--|-----|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |  |     |                                   |
| 28                        | 77 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>                                   | <p>栄養士には食べる量や栄養バランスなどを見てもらい、利用者一人ひとりが楽しく食べられるように工夫している。また、訪問看護ステーションの看護師による健康面からの栄養摂取や水分確保の指導を受け、支援している。</p> |     |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり   |    |   |  |     |                                   |
| (1)居心地のよい環境づくり            |    |   |  |     |                                   |
| 29                        | 81 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>共用の空間には、花を飾ったり、いろいろな写真を掲示したりして明るく、居心地よく過ごすことができるよう工夫している。また、オール電化になっており、設備が整えられている。</p>                   |     |                                   |
| 30                        | 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>                   | <p>居室には利用者一人ひとりの使い慣れた家具や物を置いて、安心して過ごせるようになっている。</p>  |     |                                   |